

京安全通信～安全な学校生活を目指して～

其の五「犯罪の被害に遭わないために」

STOP!!犯罪被害!! ～い・か・の・お・す・し～



令和 8年1月

京都市教育委員会事務局 体育健康教育室

京都市立中学校教育研究会 安全教育部会



2026年がスタート!!今年も安心安全な一年に



昨年は皆さんにとってどんな一年だったでしょうか。新しい年を迎え、希望に満ちたスタートを切るこの時期に、改めて「自分の安全」について考えてみましょう。

「危険なんて自分には関係ない」と思っていませんか?しかし、通学路での声かけやつきまとい、ひったくり、空き巣など、犯罪のリスクは私たちの身近に潜んでいます。こうした被害は、ちょっとした油断や「大丈夫だろう」という気持ちから起こることが多いのです。

新しい一年を安心して過ごすために、「もしこんな場面に遭遇したらどうする?」という事前の確認がとても重要です。今日からできる防犯対策を一緒に確認し、みんなで安全な毎日を守っていきましょう。

注意すべきことは「人」より「場所」



犯罪者のイメージとはどんなものでしょうか?「怖そうな人」などと見た目で判断しがちですが、人は見た目で判断することは難しいです。一番注意しなければならないのは「場所」です。

犯罪者が好きな場所、それは…「(誰もが)入りやすい」「(誰からも)見えにくい」場所です。



トンネルは、両側の出入り口から入ることができるので、誰もが入りやすく、中は壁に囲まれているので、周囲に家があっても誰からも見えにくい場所である。



大人の身長程度の高さの樹木が公園の周囲に密集している公園や、ブロック塀に囲まれた公園は、周囲から中が見えにくい場所である。



不特定多数の人が集まる駅やデパート、広場等の場所では、その場にいる一人一人の関心や注意は拡散してしまうので、実は心理的に見えにくい場所である。大勢の人がいるから安心と考えるのは誤り。こうした場所では注意が必要である。



👉 犯罪機会を減らすためには犯罪に強い3要素「領域性」・「監視性」・「抵抗性」を高めることが重要!!

領域性:犯罪者の力が及ばない範囲を明確にすること(外から見えやすいフェンスなどで囲む)

監視性:犯罪者の行動を把握できること(照明や防犯カメラを設置する)

抵抗性:犯罪者から加わる力を押し返そうとすること(家や窓に二重錠を付ける)

いか・の・お・す・し

で自分を守ろう!!

いかない



「お金をあげるよ」「お金をあげるよ」などの甘い誘いにだまされない!!

のらない



「〇〇まで連れて行ってあげるよ」という声をかけられても、知らない人の車に乗らない!!

おおござでさけぶ



恐怖を感じたら、大声で叫び、助けを求める。防犯ブザーも効果的!!

すぐにする



あやしいと思ったらすぐにその場から離れ、「こども110番のいえ」など安全な場所に逃げる!!

しらせる



なにかおかしいと思ったら、すぐに周囲の大人に知らせる!!

- ◆登下校は、できるだけ1人にならないようにしましょう。
- ◆明るい道や、人通りの多い道を通るようにしましょう。
- ◆帰宅時間や、出かける場所を必ずお家の人に伝えましょう。
- ◆ながらスマホや、イヤホンで音楽を聞くことで、不審者に気づかないこともあるので注意しましょう。
- ◆事前に地域の「学校」「交番」「コンビニ・スーパー」「ガソリンスタンド」「飲食店」「こども110番のいえ」など、身の危険を感じた時に駆け込むことのできる場所を確認しておきましょう。



悪いのは
犯人です!
勇気を出して
通報・相談し
てください。

被害に遭ってしまった時は、110番通報

(いち早い通報が、犯人の検挙、次の被害防止につながります。)

相談したいと思った時は、最寄りの警察署に相談

(不安に思うことがあれば、1人で悩まないで相談してください。)



* 参考:京都府警察本部